

授 業 科 目 名	理科教育法Ⅲ	教 員 名	坂倉 真衣	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	演習	担当形態	単独		保育士	
科 目 番 号	SID311	配当年次	3年前期	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
単 位 数	2単位				小幼コース	選択必修
科 目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）（小学校）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	各教科の指導法					
科 目						
系 列						
一 般 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科授業の視点となる課題の設定と発問の仕方、発問による児童の反応、板書計画、予備実験、安全管理、児童の思考の流れにあった授業デザインの知識や方法を獲得する。</li> <li>・理科授業を視聴し、上述した視点にそって分析する。</li> <li>・理科学習指導案の構成要素である単元観、教材観、指導観、評価基準、本時の指導とその内容を理解する。</li> <li>・理科学習指導案を作成する。</li> <li>・理科学習指導案を踏まえた模擬授業を行う。</li> <li>・模擬授業について批判的に検討する。</li> </ul> <p>(1)理科の目標及び内容 学習指導要領に示された理科の目標や内容を理解する。</p> <p>(2)理科の指導方法と授業設計 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>					
到 達 目 標	<p>(1)理科の目標及び内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)学習指導要領における理科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2)個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。</li> <li>3)理科の学習評価の考え方を理解している。</li> <li>4)理科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</li> </ol> <p>(2)理科の指導方法と授業設計</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。</li> <li>2)理科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。</li> <li>3)学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</li> <li>4)模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</li> </ol>					
授 業 の 概 要	<p>理科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された理科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>小学校理科の授業を視聴・分析するとともに、授業づくりの視点や学習指導案の作成について理解を図り、小学校理科の授業力を育成する。理科授業分析・授業づくりの視点は、課題の設定、発問の仕方、発問による児童の反応、板書計画、予備実験、安全管理、児童の思考の流れにあった授業デザイン等である。これらの視点を踏まえて、実際に小学校の理科授業を視聴させ、授業を分析させる。そして、分析結果から得られた知見を踏まえて学習指導案（単元観、教材観、指導観、評価基準、本時の指導）を作成させ、模擬授業を行わせる。その後、模擬授業を批判的に検討させる。授業</p>					

	形態は、演習とする。アクティブラーニングとして、指導案作成、指導案のプレゼンテーション、模擬授業、ペア・グループディスカッションなどを取り入れる。
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。
授 業 計 画	<p>第1回：理科の授業視聴・分析、授業づくりの視点 理科の授業視聴・分析、授業づくりの視点を知る。</p> <p>第2回：理科授業における課題の設定 課題設定の仕方を知り、実際の授業を課題設定の仕方の視点から検討する。</p> <p>第3回：理科授業における発問の仕方と発問による児童の反応、板書計画 発問の仕方や発問による児童の反応、板書計画を知り、実際の授業を発問の仕方と発問による児童の反応、板書計画の視点から検討する。</p> <p>第4回：理科授業における予備実験と安全管理 予備実験の重要性や安全管理法を知り、実際の授業を安全管理の視点から検討する。</p> <p>第5回：児童の思考の流れにあった授業デザイン法 児童の思考の流れにあった授業デザイン法を獲得し、実際の授業を授業デザインの視点から検討する。</p> <p>第6回：理科授業の視聴とその分析 児童の思考の流れに着目して、理科授業を視聴・分析する。</p> <p>第7回：理科授業視聴の分析結果の検討 理科授業の分析結果を踏まえて、授業づくりについて検討する。</p> <p>第8回：理科の指導案の構成要素（単元観、教材観、指導観、評価基準、本時の指導）とその内容理科の指導案の構成要素について知り、その具体的内容を理解する。</p> <p>第9回：理科学習指導案（単元観、教材観、指導観、評価基準）の作成 理科学習指導案の単元観、教材観、指導観、評価基準を作成する。</p> <p>第10回：理科学習指導案（本時の指導）の作成 理科学習指導案の本時の指導を作成する。</p> <p>第11回：学習指導案を基にした模擬授業（本時の指導の導入部）の実施 本時の指導の導入部に着目し、模擬授業を実施する。</p> <p>第12回：模擬授業（本時の指導の導入部）の検討 本時の指導の導入部に着目した模擬授業を批判的に検討する。</p> <p>第13回：学習指導案を基にした模擬授業（本時の指導の展開部）の実施 本時の指導の展開部に着目し、模擬授業を実施する。</p> <p>第14回：模擬授業（本時の指導の展開部）の検討 本時の指導の展開部に着目した模擬授業を批判的に検討する。</p> <p>第15回：模擬授業の検討結果のまとめ 検討結果を踏まえて、授業づくりについて再検討する。</p> <p>期末試験：試験期間中に実施</p>
学生に対する評価	<p>指導案の作成や模擬授業の実施40%、模擬授業の検討レポートの内容30%、期末試験の成績30%で評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
授業外学習について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <p>事前学習：毎回講義後に、次回の講義内容を伝えるので、事前にテキストの関連箇所を読み、不明な点、疑問点を明確にしておくこと。</p> <p>事後学習：毎回の講義内容や指導案、模擬授業に関するレポートを課すので、次回までにまとめて</p>

	<p>おくこと。また、講義内容について、自分なりに整理して理解しておくこと。          その他：毎週土日に必ず振り返りを行うこと。</p>
テ キ ス ト	特になし
参 考 書 ・ 参 考 資 料 等	<p>『はじめての人のための理科の授業づくり—学習問題から学習課題へ—』 三崎隆 2011 大学教育出版          『授業を変える—認知心理学のさらなる挑戦』 全米学術研究推進会議編著 2002 北大路書房          上記以外は、授業の展開に合わせて紹介する。</p>
担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ	特になし
オ フィ ス ア ワ ー	毎週水曜日 9:00～12:00